

トムさん・カイルさん一年間ありがとうございました。

昨年九月より、第十四次英国ボランティア青年として、来村していただいたトム・ヒューズさんカイル・ウィットイントンさんの二人が、一年間の活動を終え、七月三十一日、八月二日に、それぞれ帰国しました。

お二人に洞爺村での思い出などを聞いてみました。

洞爺村での思い出は？

(トムさん)

初めて洞爺に訪れた時、とても小さく見え、しかもスターバックス（コーヒー店）がなかったけれど、とても美しく穏やかな場所でした。この一年、洞爺は私の我が家となりました。ここを離れ、別れることになり、とても残念に思います。

(カイルさん)

洞爺村は美しく特別な場所です。洞爺の皆さんは、とても親切で手助けしてくれました。

帰国後の夢は？

(トムさん)

将来日本に戻るため、日本語を一生懸命勉強し、大学で勉学に励むこと。フィッシュ&チップスを食べるためにも！

(カイルさん)

洞爺に戻ってくることに。

最後に洞爺村の皆さんに一言

(トムさん)

この一年を通して親切にしてくれたこと、洞爺の生活に慣れるため、がまんと思いやりを見せてくれたこと、皆さんの友情に、すべてに感謝します。

(カイルさん)

どんなに洞爺村が素晴らしいかということはずっと忘れません。

総合センターに自治会活動振興用備品を整備

平成十七年度コミュニティ助成事業

村では、自治総合センターのコミュニティ助成事業の支援を受け、総合センターに自治会等のコミュニティ組織活動支援のためのイス・テーブル・チェアポーターを整備しました。

この助成事業は、同センターが全国自治宝くじ普及広報村では、事業費として受け入れる宝くじ受託収入を財源として運営され、住民の皆様のコミュニティ活動を推進するとともに、宝くじの普及広報を目的に行われているものです。

今後、住民の皆様のコミュニティ活動に積極的に活用ください。



整備された、イスと机



離村式に駆けつけた子ども達との別れを惜しむ